

マンションの二つ
隣に引っ越してき
たOLさんと出会
ってその日にセッ
クス

夕方、ごろ寝していると

なんだか外が騒がしい。

ここは小さな三階建てマンションの一番上の階の端っこ。

一階あたり三部屋ある。

音は廊下から聞こえる。

ふと気になってドアを開けて覗くと

引っ越し業者のような男性が電話を片手に二つ隣の部屋の前に立っている。

廊下の一番奥。

ドアを開けて綺麗な女性が出てきた・・・・。

「あっ！！こんにちは！！」

笑顔を見せ挨拶する彼女。

マンションの住人は特に把握しているわけでもないが挨拶くらいはすることも多いためだいたい分かる。

だけど彼女は見たことがなかったので引越してきた方だと分かった。

廊下から空を見ると・・・・・・・・
月が三日月でキレイ。

その少し横になんとか絵に描いたよう
に絶妙に星が一つ浮かんでいる。

俺は部屋に戻りテレビをつけながらぼ
んやりしていた。

毎日の生活・・・。

少し退屈で自堕落になりそうになる。

遊ぶお金にも乏しいが、踏ん張っている
毎日である。

そんな俺に神からのプレゼントか。

そんな風に思える状況に・・・。

五月の半ば。こんな時期にとんでもない
プレゼントは舞い降りてきた。

ピンポオオーンツツツ

「あの・・・・廊下で今日の昼すれ違っ
た時・・・・お兄さんのもっこりブ
リーフが膨らんでたんで・・・・」

確かに・・・・・・・・。

俺はマンションの敷地内（マンションの外側には広い庭がある）くらいなら大丈夫だろう、と

ブリーフ、場合によっては毛を剃り落しているすっぽんぽんの裸姿で移動をしていることが多い。

その時は

「あっ・・・こんにちは」

という具合に軽くお姉さんに挨拶したと記憶していた。

「あのグレーのパンツが忘れられなくて」

お姉さんは肩をゆさゆさ揺らしている。

視線を下に落とすと、

下半身をもぞもぞさせているのだと分かった。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)